

科目名		授業形態	担当教員名	
精神障害治療学Ⅲ		演習・講義	淡路 大致・濱崎 光弘	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
精神障害治療学Ⅰ・Ⅱ、精神障害評価学Ⅰ・Ⅱで得た知識をふまえ、精神障害領域の評価や治療技法について演習を通じて学び、実際に当事者との関わりのなかから作業療法の一連の流れを経験する。				
授業の到達目標				
1. 当事者の生活上の困りごとを聴取し寄り添うことができる。 2. 当事者の全体像をまとめ、統合と解釈ができる。 3. 当事者の望む生活に合わせた作業療法を立案できる。 4. 精神障害作業療法の一連の流れを説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	当事者評価計画			
2	当事者評価計画			
3	当事者評価			
4	当事者評価			
5	当事者評価振り返り			
6	当事者評価			
7	当事者評価			
8	当事者評価振り返り			
9	当事者評価			
10	当事者評価			
11	当事者評価振り返り			
12	当事者情報の列挙・整理・解釈			
13	当事者情報の列挙・整理・解釈			
14	当事者情報の統合と解釈・目標設定・作業療法立案			
15	発表・質疑応答			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	70%	当事者に関するレポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他	30%	グループワークの参加への主体性や貢献度で評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
精神障害と作業療法 新版	山根寛		三輪書店	
精神疾患の理解と精神科作業療法 第2版	朝田隆		中央法規	
自由記載				
備考				